

第 2 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

( 第 3 号 )



1 平成8年6月18日(火曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 25名

1番 辻田 実	2番 本橋 亮一
3番 三上 英男	4番 小幡 一宏
5番 忍足 利彦	6番 鈴木 順子
7番 斉藤 実	8番 増田 基彦
9番 島田 保	10番 宮沢 治海
11番 秋山 光章	12番 植木 馨
13番 脇田 安保	14番 永井 龍平
15番 山崎 雅己	16番 鈴木 忠夫
17番 岩村 勝弘	18番 日下 君敏
19番 川名 正二	20番 神田 守隆
21番 山中金治郎	22番 榎本 春光
23番 石井 昌治	24番 福原 勤
25番 飯田 義男	

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市長 庄司 厚	助 役 小幡 清之
収入役 永野 修	企画部長 寺嶋 清
総務部長 鈴木 完二	市民福祉部長 渡辺 富雄
経済環境部長 小沼 晃	建設部長 鈴木 信一
水道課長 谷貝 実	教育委員会 会長 高橋 博夫

1 出席事務局職員

事務局長 兵藤 恭一	事務局長補佐 鈴木 哲
書記 四ノ宮 朗	書記 島本 一樹
書記 鈴木 達也	書記 松浮 郁夏

1 議事日程(第3号)

平成8年6月18日午前10時開議

日程第1 議案第41号 館山市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

日程第2 議案第42号 館山市総合保養地域重点整備地区における固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

日程第3 { 議案第43号 館山市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第44号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第45号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第46号 工事委託協定の締結について

議案第47号 工事委託協定の締結について

議案第48号 館山市学校安全共済掛金徴収条例の一部を改正する条例の制定について

議案第49号 館山市国民宿舎利用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

日程第4 { 議案第50号 平成8年度館山市一般会計補正予算(第1号)

議案第51号 平成8年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

議案第52号 平成8年度館山市老人保健特別会計補正予算(第1号)

議案第53号 平成8年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

日程第5 請願第7号 稲村城跡保存に関する請願書

開 議 午前10時07分

◎議長（辻田 実君） 本日の出席議員数25名、これより第2回市議会定例会第3日目の会議を開きます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

#### 議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第1、議案第41号館山市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認についてを議題といたします。

#### 質疑応答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。

20番神田さん。

◎20番（神田守隆君） 議案第41号館山市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認についてお尋ねをいたします。

今回の税条例の改正は、全体としては大変な量があるのでありますけれども、その内容を見ますと、減税と同時に増税も含まれたものになっているということかと思います。減税については、所得割を一律に15%減税することとありますが、その一方で均等割を増税し、2,000円を2,500円に引き上げるという内容があるわけであります。所得割のない低所得世帯では、減税の影響は全くなく、増税だけということになるケースもあるわけであります。減税と言いながら、巧みに増税をその中に忍ばせるというやり方は感心できないと思うのであります。税条例の改正全体としては、減税を基調としているということは認められますが、だからといって、こうした問題点も見過ごすことのできないところかと思うのであります。

そこで、今回の改正は国の地方税法の改正に伴うもののことでありますが、地方税法改正ではどういう理由で均等割を2,000円から2,500円に引き上げようとするものなのか、この点についての御説明をいただきたいと思うのであります。

次に、今回の市民税の改正全体として、市民への影響額は全体としてどう

なっているのか明らかにしていただきたい。そうした点から、市民税の増税と減税の影響はそれぞれどうなのか、その実態についてどのような認識をお持ちか、お聞かせをいただきたいと思います。

◎議長（辻田 実君） 鈴木総務部長。

◎総務部長（鈴木完二君） 議案第41号に関します第1点目、均等割に関する御質問でございますが、個人市民税均等割の税率につきましては、昭和60年度の地方税法改正以来据え置かれておりました。今回、定額課税の見直しの観点から、地域社会の費用の一部をひとしく分担するという均等割の性格等を考慮して引き上げを行うものでございます。

次に、第2点目、影響についての御質問でございますが、均等割の引き上げに伴う影響額は約960万円でございます。また、特別減税による影響額は約1億5,700万円でございます。

◎議長（辻田 実君） 他に御質疑ございませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

#### 討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案を承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案は承認することに決しました。

#### 議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第2、議案第42号館山市総合保養地域重点整備地区における固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認についてを議題といたします。

#### 質疑応答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

#### 討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

## 採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案を承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案は承認することに決しました。

## 議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第3、議案第43号乃至議案第49号の各議案を一括して議題といたします。

## 質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

20番議員神田守隆さん。御登壇願います。

（20番議員神田守隆君登壇）

◎20番（神田守隆君） 議案第45号館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてお尋ねをいたします。

まず、基本的な国保税の現況についての市長の認識をお尋ねをいたします。先日の行政一般質問の中でも高過ぎるとの指摘がされましたが、国民健康保険税は既に高過ぎて加入者の負担の限界を超えていると思われます。滞納などの収納率の低下は国保税制度自体の存立の危機的状況だと思うのでありますが、こうした現況についてどのようにお考えでありますか。

次に、国保財政調整基金の残高はこの7年度末で約1億円が見込まれます。この基金は減税財源として活用できるもので、これを残しながら増税というのは納得しがたいことであります。この基金残高は減税財源とすべきと思うのでありますが、どのようにお考えでありますか。

次に、国保財政調整基金残高がなくなれば、資金的に大変苦しい運営をしなければならなくなることはそのとおりかと思えます。しかし、現実基金



残高なしに運営している国保もないわけではありません。できないことではないはずです。また、資金運営などの問題であるならば、一般会計からの援助措置などの繰り入れをふやす措置も考えられることと思うのですが、一般会計からの助成措置をふやすことについてどのようにお考えになれますか。

次に、議案第48号館山市学校安全共済掛金徴収条例の一部を改正する条例の制定についてお尋ねをいたします。学校安全会の掛金徴収額を引き上げようとするものでありますが、掛金の引き上げは共済の給付額の増大と相まってのことと思うのであります。これ自体は全国的な計算の上に成り立つものと思うのでありますが、また同時に、この館山市においてはどのような状況になっているのでありましょうか。市内の共済金の給付状況についてどうなっているのか、どういう事故が多いのかなど、御説明をいただきたいと思うのであります。

次に、この共済給付の要件は学校管理下の事故とされているわけですが、この学校管理下とはどういうことまでを言うのでありましょうか。例えば中学生では、部活動として日曜日や祝日、休日等に練習試合などに出かけることがあります。自転車で他校に出かける途中で交通事故に遭ったというような場合にもここで言う学校管理下の事故ということになりますか。こういうケースも十分考えられると思うのでありますが、この学校管理下ということの意味について御説明をいただきたいと思うのであります。

以上、御答弁によりまして再質問をさせていただきます。

◎議長（辻田 実君） 庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） ただいまの神田議員の御質問にお答えいたします。

議案第45号、館山市国民健康保険税条例に関します第1点目、収納率に関します御質問でございますが、国民健康保険制度は、構造的要因や高齢化の進展に伴い厳しい状況にあります。その制度が抱える問題につきましては、全国的なものと認識しております。館山市といたしましては、国民健康保険制度の安定確保のため、医療保険制度の一元化や国庫負担の拡充強化等につ

いて引き続き国へ要望していくとともに、収納率の向上に一層努力してまいります。

次に、第2点目、基金は減税財源とすべきではないかとの御質問でございますが、基金につきましては、国保財政基盤の安定、強化の観点から、国の示します保有基準で、過去3カ年における保険給付費の平均年額の5%以上を積み立てることとされております。館山市といたしましては、医療費の状況等から留保すべき保有額を1億円とし、基金から9,400万円を繰り入れ、これを減税財源に充てようとするものでございます。

次に、第3点目、一般会計からの繰り入れをふやす措置が考えられないかとの御質問でございますが、国民健康保険は特別会計でありまして、加入者負担が原則となっております。しかしながら、館山市は昭和63年度から一定の枠を定め、一般会計からの繰り入れを行い、税軽減を図っておりまして、これ以上繰り入れをふやす考えはございません。

議案第48号に関します問題につきましては、教育長より御答弁申し上げます。

◎議長（辻田 実君） 高橋教育長。

（教育長高橋博夫君登壇）

◎教育長（高橋博夫君） 議案第48号に関します第1点目、市内の共済金の給付状況と事故の種類についての御質問でございますが、平成7年度の給付件数は366件でございます。内訳は、小学校207件、中学校145件、幼稚園14件、保育園におきましては発生しておりません。また、事故の種類は、骨折118件、捻挫86件、挫傷57件、打撲35件、その他靱帯損傷等70件となっております。

次に、第2点目、学校管理下の範囲の御質問でございますが、一般的に学校長の管理監督権の及ぶ範囲とされ、通学中も含まれます。また、互助共済というこの制度の趣旨から、できるだけ多くの被災児童生徒を救済できるよう、給付対象範囲の拡大が図られております。

以上です。

◎議長（辻田 実君） 20番神田さん。

◎20番（神田守隆君） 国保の問題なんですが、一応国保財政調整基金から減税財源に回しますよ。1億9,000万円ですか、そのうち9,000万円。約1億円を残高で残すということで、それは国保の財政運営上最低限必要な範囲より低いぐらいだ、こういうようなことかと思うんですが、私どもは議員という立場で市民ともいろいろお話をいたしますけれども、率直に言いまして、今度のいわゆるN T T株購入事件を通じまして、館山市役所には基金の管理能力があるのかという不信感なんです。これには何と答えていいのか。率直に言って、そう言われれば返す言葉がないんです。これは本当にこのN T T株問題の持っている深刻な意味を受けとめなきゃいけないことだろうと思うんです。本当に市民の信頼を回復しなければ、私はとても胸を張って言える問題ではないんです。確にお説のとおり、館山市役所においては基金の管理能力について問題があったと率直に認めざるを得ないわけです。そういう中でこの基金の問題ということが出てくるわけです。そんなものがあるから、なまじっか、こんな不正があっても、8年間も事件が表ざたにならなかったんじゃないかと言われれば、お説のとおりです。なまじっか、なければ早く発覚したというのはそのとおりですから、そういう意味で基金の管理能力があるのかと問われるわけなんです。その辺をどうやって受けとめていいのか、市としてはどうやってその市民の批判に対して答えようとするのか、お考えがあったらお聞かせをいただきたい。

それから、学校管理下の問題で、給付対象の拡大といいますか、こういう点では非常に積極的にその対応が必要かと思われるんですが、学校長の監督下というふうに言われても — もう少し具体的に、どんなことになるのか。先ほど具体例として私は — いわゆる部活動というのが大変中学では広範に行われて、私も自分の娘なんかが日曜日のたびに部活動でいろいろ出かけていくということもあるわけで、そういうときに事故に遭う、交通事故に例えば遭うというような場合、あるいは行き帰り — 結構帰りにいろんな道を通ってきたりしますし、また自動車も結構通っていますし、こういうケースは一応学校管理下と言えるのかなというのはどの親も事故に遭えば当然考えることだろうと思うので、そういう一つの具体的な事例で考えておきたいなと

思うんで、その辺の御見解をお聞かせいただけたらと思うんです。

◎議長（辻田 実君） 小幡助役。

◎助役（小幡清之君） N T T株事件で基金が使われていたということ、これはそのとおりでございまして、本当に申しわけないこととございまして、これの措置につきましては、法的な手段で肅々として適正に処理をしていく、そういう形で現在進めているところでございます。

それで、国保会計の財政調整基金、これは国保財政を運営していく上で、やはり何としても1億円は持っていないと健全な運営ができないということで、これはこれで切り離して考えていきたい。今後ともすべての基金についての運営管理、これは厳正に行っていくという方向で、切り離してまいりたいと考えております。

◎議長（辻田 実君） 高橋教育長。

◎教育長（高橋博夫君） ただいまの具体的な例をということでございますけれども、校長の管理監督下ということでございますけれども、これは大きく言いまして2つあるんじゃないかと思います。一つは教育課程を編成した正規の授業等で行われるもの、いま一つは教育課程外といたしまして、いわゆるクラブ活動等、その他の子供たちの活動を含んだ場合等と言われると思います。

そこで、今御質問のクラブ活動では、今言います教育課程外というようなことに入るわけとございまして、これら部活動の場合の土曜、日曜、それから休日等の扱いとございますけれども、最近の改正によりまして、今までは教師の監督指揮下ということになっておりましたので、どうしても引率の場合はつかないといけないということになっておりましたけれども、それが大変広く解釈が行われるようになりました。それは、いわゆる適切な指導のもとにという言葉に変わりましたので、お子さんたちが来るまでに、自転車で来る場合の注意等、またその道等、それから集合の場所等、指示が具体的になされている。また、帰りも同じであるというような、きちんとしたところの指導がなされていけば、これは対象になるということで、大変幅広く扱われるようになっております。

以上でございます。

◎議長（辻田 実君） 以上で20番議員神田守隆さんの質疑を終わります。

次に、3番議員三上英男さん。御登壇願います。

（3番議員三上英男君登壇）

◎3番（三上英男君） 国保税の改正についてお尋ねいたします。

今回の値上げは、所得、資産に関係のない均等割と平等割を各50%値上げしようとするものでありますが、その理由は14日の日下さんの質問でわかっております。しかし、これで応分の負担を求めることになるのでしょうか。国保税は高いという不満を解決するには、他の方法も考えなければならないときに来ているのではないのでしょうか。私がかつて国保の審議委員をしていたときに、高齢者で他の保険の被扶養者になる資格のある方はそちらに移っていただきたいと提案し、市でもそのように進めていると聞いておりますが、その結果はどうでしょうか、お尋ねいたします。

このように、国保加入者のうち65歳以上の高齢者の占める割合が高いように思いますが、65歳以上の加入者の割合はどのようになっていますか、お尋ねいたします。

国保税は、その性格上、福祉的要素が多分にあるわけでありますので、一般会計からの繰り入れを1億円ぐらいしてもよいと考えるものであります。市長の政治的決断をお願いいたします。

次に、下水道関係の議案第46号に限っての御質問をいたします。本来市の事業は入札により業者を決めなければならないわけでありますが、この随意契約は日本下水道事業団を窓口に入札を行っておるわけであります。これでは工事金額が適正であるか。また、競争によって安く抑えるということができないわけであります。今回の下水道事業は、始まる前から談合問題で騒がれていたことでもありますので、随意ではなく、入札でやるべきではと考えます。いかがでしょうか、お尋ねいたします。

以上、再質問はありません。

◎議長（辻田 実君） 庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） ただいまの三上議員の御質問にお答えいたします。

議案第45号に關します国民健康保険の税額改正に關する御質問でございますが、国保加入者の館山市におきます65歳以上の割合は37.5%で、8,737人となっております。

また、他の医療保険への加入につきましては、毎年11月に調査を実施し、これが加入促進を図っておりますが、平成7年度は56人が他の医療保険に加入しております。

次に、一般会計からの繰り入れにつきましては、先ほど神田議員にお答えいたしましたとおり、これ以上の繰り入れにつきましては考えておりません。

次に、議案第46号に關します下水道工事委託協定の締結についての御質問でございますが、下水道の終末処理場に直接接続をする主要幹線管渠につきまして、年次計画により、下水道技術に精通した日本下水道事業団に委託するものでございます。

なお、この機会に御報告申し上げますが、平成11年度を目途としておりました一部供用開始が平成10年度当初となる見込みでございますので、御報告申し上げます。

以上でございます。

◎議長（辻田 実君） 以上で3番議員三上英男さんの質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりますが、通告をしない議員で御質疑ありませんか。――御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となっております議案第43号乃至議案第49号の各議案は、お手元に配付の議案付託表のとおり、所管の常任委員会に付託いたします。

#### 議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第4、議案第50号乃至議案第53号の各議案を一括して議題といたします。

### 質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

通告はありませんでした。御質疑はありませんか。――御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

### 委員会付託

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となっております議案第50号乃至議案第53号の各議案は、お手元に配付の議案付託表のとおり、所管の常任委員会に付託いたします。

### 請願書の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第5、請願第7号稲村城跡保存に関する請願書を議題といたします。

### 委員会付託

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました請願は、お手元に配付の請願付託表のとおり、所管の常任委員会に付託いたします。

### 議長の報告

◎議長（辻田 実君） なお、この際申し上げます。

6月10日の議会運営委員会までに受理した陳情書は、お手元に配付の陳情送付表のとおり、所管の常任委員会に送付いたしましたので、報告いたします。

延 会 午前10時37分

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会とすることに決しました。

なお、明19日及び20日は委員会審査のため休会、次会は6月21日午前10時開会とし、その議事は、議案第43号乃至議案第53号等に係る各委員会における審査の経過及び結果の報告、討論、採決並びに追加議案の審議といたします。

この際申し上げます。各議案等に対する討論通告の締め切りは6月21日午前9時でありますので、申し添えます。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第41号乃至議案第53号
- 1 請願第7号